

令和6年度事業に係る説明会

令和6年度伴走支援型観光地域力強化推進事業

(旧事業名：地域の魅力を活かした観光地づくり推進事業)

令和6年4月12日

HTO 公益社団法人北海道観光振興機構

1. 伴走支援型観光地域力強化推進事業 概要
2. 主な変更点
3. 事業の流れ及びスケジュール
4. 応募区分・要件等について
5. 対象経費・対象期間
6. 支給対象外について
7. 選定について
8. 中間報告、事業実施期間、事業内容の変更または中止
9. 応募手続き

地域の観光地づくりに対し、将来的な自走化を目的とするとともに、地域の「稼ぐ力」を推進するため、支援を行う制度です

事業概要
目的

- 多様化する観光客ニーズに対応するため、地域の受入体制の整備や満足度の高い観光地づくりを推進し、交流人口や観光消費の拡大に繋げ、地域経済の活性化を図る。
- 北海道の各地域の課題解決や魅力向上の取り組みを加速化・深度化するため、地域が自主性・主体性を発揮して実施する観光地づくりに対し、将来的な自走化を目的とするとともに、地域の「稼ぐ力」を推進するため、実情に応じた支援を行う。

伴走支援型観光地域力強化推進事業（旧事業名：地域の魅力を活かした観光地づくり推進事業）

DMO枠

地域連携DMO・地域DMOにおいて、広域的または市町村の範囲内で観光地づくりを推進

地域単独枠

市・町・村の範囲内において、地域の観光資源の掘り起こし、磨き上げなどによる観光地づくりを推進

広域連携枠

複数の市町村に跨り、広域的な観光地づくりのための連携体制の構築を推進

事業の
取組方針

- 地域の多様な観光コンテンツの造成、磨き上げから、受入体制の整備、販売及び情報発信まで一連の支援を実施する。
- 地域において付加価値が高く、商品開発につながる下記の項目について重点的に取り組むこととする。
- 持続可能な観光の推進に資する取り組みを行うこととする。

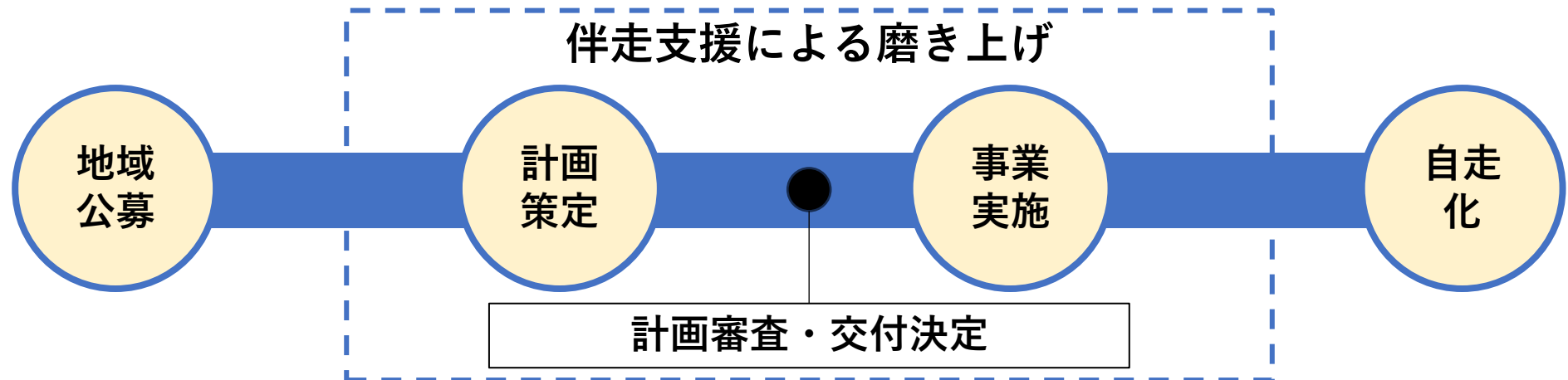
重点支援項目

- (1) **ワイン・ツーリズムの推進**
(ワイン、日本酒、ウイスキー等を含む酒をテーマとしたツーリズム)
- (2) **ケア・ツーリズムの推進**
(癒しや健康、ユニバーサルツーリズムなど、心と体のケアをテーマとしたツーリズム)
- (3) **ナイトタイム・エコノミーの促進**
(自然資源の夜間活用など、夜間消費拡大をテーマとしたツーリズム)
- (4) **アドベンチャートラベルの推進**
(アクティビティ、自然、文化体験の3要素のうち、2つ以上で構成されるツーリズム)
- (5) **その他**
(ワーケーションの推進、ゼロカーボンの推進、本道の特徴を活かした観光地づくりの推進等)



事業の流れ

- ・観光地づくりに取り組む観光団体を中心とする「地域」を公募
- ・地域が主体となって、**稼ぐ観光地づくりの実施計画（3か年計画）**を作成し、同計画に基づく観光コンテンツの磨き上げ、受け入れ態勢整備等の一連の取り組みについて伴走支援を実施



重点テーマの絞り込み

★重点支援項目（令和5年度）

- (1) ワイン・ツーリズムの推進
- (2) ケア・ツーリズムの推進
- (3) ナイトタイム・エコノミーの促進
- (4) ワークেশョンの推進
- (5) 観光DXの推進
- (6) ゼロカーボンの推進
- (7) アドベンチャートラベルの推進
- (8) 本道の特色を活かした観光地づくりの推進
例：アイヌ文化・縄文文化、世界遺産・日本遺産・北海道遺産、グリーンツーリズム



★重点支援項目（令和6年度）

- (1) **ワイン・ツーリズムの推進**
(ワイン、日本酒、ウイスキー等を含む酒をテーマとしたツーリズム)
- (2) **ケア・ツーリズムの推進**
(癒しや健康、ユニバーサルツーリズムなど、心と体のケアをテーマとしたツーリズム)
- (3) **ナイトタイム・エコノミーの促進**
(自然資源の夜間活用など、夜間消費拡大をテーマとしたツーリズム)
- (4) **アドベンチャートラベルの推進**
(アクティビティ、自然、文化体験の3要素のうち、2つ以上で構成されるツーリズム)
※アイヌ文化、縄文文化、世界遺産、日本遺産、北海道遺産、食文化、グリーンツーリズム、環境に配慮した取り組みなども含めた広義なテーマ
- (5) **その他**
(ワークেশョンの推進、ゼロカーボンの推進、本道の特色を活かした観光地づくりの推進等)

北海道の各地域に点在する観光資源を活かし、国内やインバウンドのニーズを捉えたテーマを設定し、重点的に支援する。



○ワイン・ツーリズム

ワイン、日本酒、ウイスキーなどを含む酒をテーマとしたツーリズム

道内のワイナリーは郊外に点在している場合が多く、車での移動が必要で現地へのアクセスにハードルがあります。ワイナリーや酒蔵、蒸留所をめぐり、その土地の文化や歴史、食などの体験や滞在先からDoor to Doorで利用できる「ワインタクシー」など、北海道のお酒を楽しむワイン・ツーリズムの取り組みを支援します。

例：地域毎に特色がある道内ワイナリーやブドウ畑、酒蔵や日本酒などをテーマとした体験、イベント、地域特産の食との組み合わせの提案や交通機関を活用したツアー など



○ケア・ツーリズム

癒しや健康、ユニバーサルツーリズムなど、心と身体のケアをテーマとしたツーリズム

北海道は豊かな自然環境が育んだ気候、森林や温泉の宝庫です。そのほか、治療やリハビリテーションを実施する優れた医療機関・介護機関も立地しています。心と身体が元気になる旅、ケア・ツーリズムの取り組みを支援します。

例：ウェルネス・ヘルス・メディカルの要素を兼ね備えた日本の豊かな自然、温泉、アクティビティ(スポーツ)、旅先でのスパ、ヨガ、フィットネス、ウォーキング など





○ナイトタイム・エコノミー

自然資源の夜間活用など、夜間消費拡大をテーマとしたツーリズム

性別、年代、国籍や旅行時期を問わず、一人ひとりが「自分に合ったナイトタイム」を見つけられるよう、道内各所のナイトタイム・エコノミーを活性化する取り組みを支援します。

例：18時以降に開園するエンターテインメントショーやライブ、美術館や博物館などの文化施設を夜間活用したもの、官民連携したまち全体でのイベント など



○アドベンチャートラベル

アクティビティ、自然、文化体験の3要素のうち、2つ以上で構成されるツーリズム

旅行者が地域独自の自然や地域ありのままの文化を、地域の方々と共に体験し、旅行者自身が自己変革・成長の実現を目的としたアドベンチャーツーリズムの取り組みを支援します。



例：手つかずの自然の体感する活動(サイクリング、ラフティング、トレッキングなど)
人里離れた自然を感じられる場所(海、川、山、温泉など)
その土地でありのままの本物の文化体験(風習、食文化、歴史、生業(農業、水産業含む)など) ※アイヌ文化、縄文文化、世界遺産、日本遺産、北海道遺産、グリーンツーリズムなども含めた広義なテーマ

主な変更点

3年間の事業計画策定

① 1年目計画

- ・取組内容（ターゲット・実施内容等）
- ・目標と成果指標（KPI）
- ・事業スケジュール

② 2,3年目計画

- ・取組内容（ターゲット・実施内容等）
- ・目標と成果指標（KPI）

③ 全体スケジュール

- ・取組内容毎の3か年スケジュール

④ 効果

- ・自走化のポイント
- ・自主財源の内容

⑤ 伴走支援

- ・重点支援の希望の有無を聞き取り

令和6年度伴走支援型観光地域力強化推進事業 応募用紙		第2号様式			
応募団体	団体名	0	代表者 (役職・氏名)	0	
	住所		所属振興局 (プルダウンから選択)		
	担当者	所属団体	担当者 (役職・氏名)		
	メールアドレス (平角入力)		TEL (ハイフンあり)		
地域情報	※複数市町村の場合は 合計数を記載(単位:千人)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	訪日外国人観光客のうち割合の高い国(地域)
	観光入込客数				第1位
	前年客数(国内・外含む) 延べ数				第2位
	訪日外国人観光客宿泊延べ数				第3位
応募事業	事業名	0			
	取組むテーマ (プルダウンから選択)	「(5)その他」を選択された場合は、取組み予定のテーマをご記載願います			
	応募年数 (プルダウンから選択)	区分			
	事業を実施する市町村名 ※複数市町村の場合は全て記載	連携する関係機関 (企業・団体名等)			
取組概要	地域の現状と課題 (※観光資源等を織り交ぜ 記載すること)				
	上記課題を裏付けるデータ 等 (※継続事業の場合は、前年 度の取組とその結果と●● 等を記載すること)				
	0	月:			
	事業スケジュール(予定) (※月単位で大まかなスケ ジュールを記載すること)	月:			
概要	1年目事業				
	取組内容 (※ターゲットや想定される 効果を変えて記載すること)				
	総事業費	千円	▲		
	目標と成果指標(KPI) (※応募年数が2、3年目 の場合は達成状況も記載 すること)	【アウトプット】	【アウトプット達成状況】	1	
伴走支援	目標と成果指標(KPI) (※応募年数が2、3年目 の場合は達成状況も記載 すること)	【アウトカム】	【アウトカム達成状況】	2	

2年目事業					
取組内容 (※ターゲットや想定される 効果を変えて記載すること)					
総事業費	千円 ▲				
目標と成果指標(KPI) (※応募年数が2、3年目 の場合は達成状況も記載 すること)	【アウトカム】 【アウトカム達成状況】				
3年目事業					
取組内容 (※ターゲットや想定される 効果を変えて記載すること)					
総事業費	千円 ▲				
目標と成果指標(KPI)	【アウトカム】				
全体スケジュール	1年目	2年目	3年目	自走化	
	4 5 6 7 8 9 10 11 12	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12		
自走化のポイント	自主財源の内容と実現方法				
効果	①	4			
	②				
	③				
中・長期の展望 (※事業を通して将来的に地 域が目指すビジョン等を記載 すること)					
伴走支援	重点支援事業 (プルダウンから選択)	5			
	重点支援を希望する場合は「希望する」、しない場合は「希望しない」を選択してください。 なお、希望した場合、下記①～④の支援を想定しております。 ○重点的に活用される支援(予定) ①採択案件公選時に、関係機関プレスリリースでの紹介 ②専門家による、人材育成・業務代行による支援 ③観光地実況写真撮影 ④成果報告会にて、関係機関との機会を創出 等と想定 ※希望団体多数の場合は、事務局内協議の上、支援団体を決定させていただきます。 ご期待に添えない場合がございます。予めご承知ください。				

【※注意:文字の大きさ11以上。必要に応じ、枠を拡大し記載のこと。概ね2ページ以内とする。】

●応募要件の変更、厳格化

- ・観光協会・連盟（DMO含む）、地方公共団体を対象とする
- ・地域単独枠・広域連携枠は、事業を実施する地域による
- ・DMO枠に採択された場合、DMO枠1事業のみ他の採択は無し
- ・協議会や実行委員会などは、観光協会・連盟（DMO含む）・地方公共団体を
含む組織のみ対象（本事業のため準備する場合も同様）

●事業費（現金ベース）の地元負担金の割合を審査対象とし加点する

精算時に地元負担金を減額する場合、当初予算の機構負担金と地域負担金の割合に応じて、機構負担金を減額する

●現物協賛の積算根拠の明確化

事業の流れ及びスケジュール

公募から精算までの流れは以下のとおりです。



区分	DMO枠	地域単独枠	広域連携枠
交付対象者	(北海道内)登録DMO、候補DMO	<p>(北海道内)観光協会・連盟 (DMO含む)、地方公共団体</p> <p>※観光協会・連盟 (DMO含む)、地方公共団体を含んで組織する実行委員会や協議会等の団体も含む。 ※本事業の立ち上げを目的とした準備をする実行委員会や協議会等の団体も対象とする。 ※応募団体が、協議会や委員会等 (市町村・観光協会・DMO除く) の場合は、団体の名簿 (構成員)、規約を添付すること。</p>	
事業実施地域・内容		<p>単独の市町村の範囲内において地域の観光資源の掘り起こし、磨き上げ等による観光地づくりを行うもの</p>	<p>複数の市町村に跨り、広域的な観光地づくりのために連携して行うもの</p>
応募条件		<p><u>各区分1事業を上限とし、応募することはできるが、最大で「DMO枠」1件又は「地域単独枠」1件、「広域連携枠」1件の計2件のいずれかのみを採択とする。</u></p>	<p><u>1団体 (※) につき2事業の応募を限度とする。ただし、各区分1事業を上限とする。</u> (最大で、「地域単独枠」1件、「広域連携枠」1件の計2件)</p> <p>※実行委員会等の名称は違うが、事務局が同じ場合は、同一の事業者とみなす。 例) キュンちゃん向上協議会 事務局 北海道観光振興機構 HOKKAIDO LOVEプロジェクト 事務局 北海道観光振興機構 ⇒この場合、事務局が同じため、同一事業者からの申請とみなし、2事業の申請となる。</p>

区分	DMO枠	地域単独枠	広域連携枠
支給上限額	1,000万円	200万円	400万円
支給下限額	500万円	50万円	50万円

地域負担額	観光機構が支給する金額の <u>同額以上</u>
	<p>※現金又は現物協賛額で担保しなければならない。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px;"> <p>【現金】 自己資金、市町村からの負担金 など</p> <p>【現物協賛】 関係の観光事業者(宿泊・運輸・体験観光事業者・旅行会社・飲食店等)が負担する以下の項目を等を現金に換算した金額 (現物協賛の例) ・通常提供価格から実際の割引額 ・各関係機関等により提供された協賛品 (例：無料宿泊券、ノベルティ他) ・当該事業に関する新聞・雑誌・無料パブリシティ ・ボランティアスタッフの人件費 等</p> </div>

原則、同一事業内容の応募は最大3年間を限度とする。

(例1) 雑誌広告掲載

- ・ 媒体価格 1 ページ 50万円
- ・ 値引き額 20万円
- 支出 30万円

情報発信として雑誌に事業の広告の掲載発注をした場合、公示されている媒体価格に対する **値引き額** が現物協賛額。



(例2) 新聞記事掲載

- ・ 北海道新聞(全道版)記事下広告 (単価: 1段 1cm@18,000円) 3段×15cm=810,000円

記事の紙面サイズにより、新聞広告を掲載した場合の **同等額** を現物協賛額にできる。



※広告パブリシティ等は、**料金表などの根拠の提出**が必要

協賛、周知協力の意思があることを確認できる資料が必要となりました (例：記者とのメール文書など)

※単独の事業者の多大な値引きではなく、**複数事業者の現物協賛**があることが理想

※プレスリリースをし、新聞へ事業に関する記事を掲載してもらう、**幅広い事業者の現物協賛**があるとなお望ましい

予算

事業費 (現金ベース)
: 400万円
総事業費: 600万円

機構負担金 300万 75%	地元負担金 100万 25%
	現物協賛 200万



精算時 (正しい例) ←

事業費 (現金ベース) ←
: 350万円 ←
総事業費 : 600万円

機構負担金 2,625,000円 75%	地元負担金 875,000円 25%
	現物協賛 250万

(誤った例) ←

事業費 (現金ベース) ←
: 350万円
総事業費 : 600万円 ←

機構負担金 300万 85.7%	地元負担金 50万 14.3%
	現物協賛 250万

対象経費

項目	対象となる事業	対象となる経費
マーケティング	戦略策定、観光客のニーズ把握のための各種調査	マーケティング調査（分析）費
メニューの開発	観光素材の磨き上げ、 体験型・滞在型交流プログラムの企画・開発・提供（実証事業）	モニターツアー・アドバイザー派遣等に係る経費 （旅費、宿泊費、施設入場料・体験料、謝金等） その他、商品開発に取り組むために必要とされる諸経費
利便性の向上	地域周遊モデルコースの設定 観光周遊バスの実証運行 交通事業者連携による周遊パスの企画・販売 その他（鉄道・タクシー・バスなど）二次交通整備に係る取り組み	実証運行に係るバス・タクシー（貸切・乗合など）の借上料（契約書要）
人材の育成	受入体制機能向上に向けた人材育成研修等に係る取り組み	人材育成に係る各種セミナー、研修会への参加費 講師に係る経費（旅費（宿泊費含む）、謝金）等
案内機能強化	外国人観光客等への案内機能の向上に向けた取り組み、 情報端末を活用した地域交通情報の集約・発信等	案内板制作に係るデザイン料、翻訳料、設置費等
受入環境の整備	観光DXに伴う非接触型入場券、アウトドアギアの整備等	物品のリース等

対象経費

項目	対象となる事業	対象となる経費
プロモーション (需要喚起)	上記の取り組みを検証するための、情報発信（媒体）、プロモーション（セールスコール、イベント出展）など	事業に付帯する媒体宣伝、印刷・製本 取り組みを検証するための（プロモーション）活動費 旅行会社、メディア等へのセールス（出張）旅費 催事イベントへの出展（原則、事務局員のみ。但し、出張等に係る日当・食糧費を除く） ウェブサイトによる情報発信のための情報収集、コンテンツ制作、デザイン、翻訳料など ※事業予算の総額に比して過大なプロモーション経費は対象外となります。
その他	事業の目的を達成するために必要な事業	消耗品※、通信・運搬、役務費、物品のリース、会議室料等（但し、事務局による打ち合わせ等での食糧費は除く。） ※消耗品（10万円未満の什器・備品含む）の購入の上限 【DMO枠】100万円 【地域・広域枠】事業費全体（現金ベース）の20%又は50万円の少ない方の金額

対象期間

- 1 採択通知日以降の着手事業を対象とする。（納品書、請求書は採択通知日以降発行のものを有効とする。）
- 2 地元負担金で実施した事業についても、採択日以前の着手事業は負担金の助成対象外とし、同一事業としての精算処理を認めない。

以下の事業・経費については、補助対象となりません。

- (1) **国又は北海道の補助・支援金等（市町村からの補助・支援金等は除く）を受けている事業**
- (2) **【DMO枠】** 総事業費が1,000万円に満たない事業（応募団体（地元）負担500万円を含む）
【地域・広域枠】 総事業費が100万円に満たない事業（応募団体（地元）負担50万円を含む）
- (3) 事業に直接関係のない経費
- (4) 支援対象事業として選定される前の経費
- (5) **財産が残る可能性のある経費**（財産が残る可能性のある経費は地元負担とする。但し、事業に付帯する什器・備品に限り、商品価格単価税込10万円未満のものは対象経費とする。）
※消耗品（10万円未満の什器・備品含む）の購入の上限額は、
【DMO枠】100万円 【地域・広域枠】事業費全体（現金ベース）の20%又は50万円の少ない方の金額
- (6) 経常的な経費（事業運営に係る人件費、事務所借上費、事業に関係のない通信費等）
- (7) **事業予算の総額に比して過大なプロモーション経費**
- (8) 観光客への現金支給等による助成（キャッシュバック・食事券・金券等）
- (9) 会費、協賛金などの義務外負担金等
- (10) その他明らかに不適切と思われる経費

(5) 財産の残る可能性がある経費について

財産が残るものは対象外

※ただし、事業に付帯する消耗品（什器・備品含む）は、商品価格税込10万円未満まで可。

【DMO枠】 100万円 【地域・広域枠】 事業費全体（現金ベース）の20%又は50万円の少ない方の金額

商品本体価格の単価が税込10万円未満まで購入が可能です。
商品の使用に必要な付帯経費（配送代や設置費）は消耗品費に含みません。

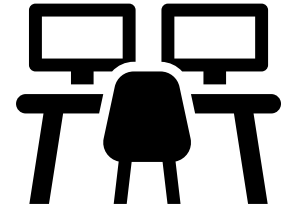
(例1) 机1台 商品価格税込90,000円 + 配送料・設置費30,000円 = 120,000円

※全て事業の対象経費で計上可能

(例2) 店舗用案内板材料1枚税込88,000円 + デザイン・設置料（付帯経費）112,000円 = 200,000円

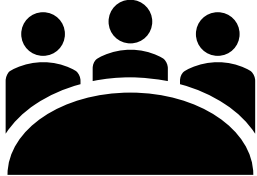

※全て事業の対象経費で計上可能

※単価10万円を超える場合は、全額対象外となりますので、ご注意ください。



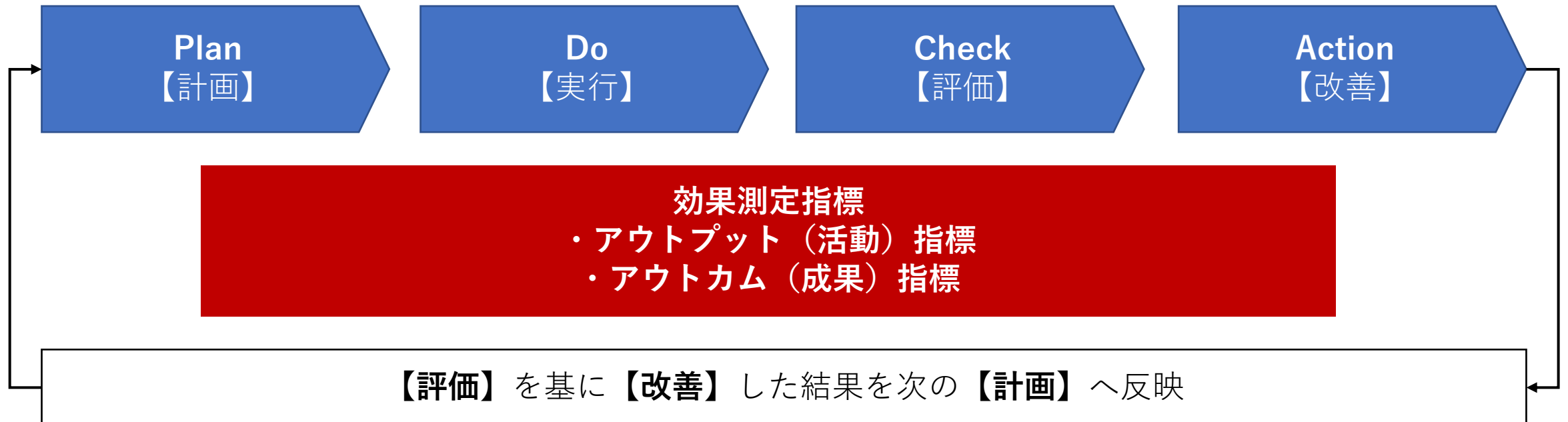
(例) ワークーション事業 - 机・椅子・パソコン・プリンター・プロジェクター、スクリーン等
コンテンツ商品造成事業 - アウトドアギア（自転車、カヌー等）

- ・上記のものであっても、事務局の業務で使用するものは経常的な経費とみなされ認められません。
- ・消耗品の購入が事業の目的にならないよう、内容は審査会により、地域の観光地づくりに寄与する内容かどうかを専門家の元、審査いたします。

<p>選定基準</p>	<p>「1 事業の目的」及び「2 事業の取組方針」に沿った提案を優先する。</p>
<p>その他の選定基準</p>	<p>① <u>地域の現状・課題を解決するための取組内容</u>となっているか ② <u>中長期的（3 年）に取り組む事業計画と数値目標が明確化</u>されているか ③ <u>3 年計画が、自走化に向けた一連の取組</u>となっているか ④ <u>テーマに沿ったターゲットに対する取組</u>として最適か ⑤ <u>関係者との役割分担</u>が出来ているか（関係者間の同意が得られているか） ⑥ 事業費に対して、<u>地元負担金が積極的な負担割合</u>となっているか</p> <div style="text-align: right;">   </div>
<p>事業の選定方法</p>	<p>事業の選定にあたっては、観光に知見を有する有識者等複数の委員による審査会において、選定する事業を決定する。観光機構は、選定委員会の選定結果に基づき、選定された団体に対して負担金支給予定額を通知する。</p>
<p>補足事項</p>	<p>選定の状況により、追加の応募、選定を行う場合がある。</p>

- ・ 自走化に向けたロードマップ（3か年計画）と数値目標が明確であること
- ・ アウトプット（活動）指標・アウトカム（成果）指標がしっかり設定されていること
- ・ 本事業を通じて地域経済に寄与するもの 等

事業の推進にあたっては、PDCAサイクルを意識することが重要



アウトプット（活動）指標とアウトカム（成果）指標の例

	アウトプット（活動）指標	アウトカム（成果）指標
定義	<ul style="list-style-type: none"> 事業を通して発生する<u>生産物</u>や<u>事業量</u>を表す指標 	<ul style="list-style-type: none"> 事業の結果として得られる<u>効果</u>、<u>成果</u>を表す指標
目的	<ul style="list-style-type: none"> <u>事業が適切かつ効率的に実行されているか</u>を把握する 	<ul style="list-style-type: none"> <u>事業で発生した効果や成果を定量的に把握すること</u>で、当該事業の継続の是非や改善方針を検討する
例	<ul style="list-style-type: none"> 着地型ツアー造成件数 体験プログラム造成件数 旅行商品造成件数 OTAや予約システムへのコンテンツ・旅行商品掲載件数 モニターツアー参加者数 イベント参加者数（ブース来訪者数） WEBサイトによる発信コンテンツ数 SNSによる投稿コンテンツ数 	<ul style="list-style-type: none"> 着地型ツアー参加者数、ツアー売上額 体験プログラム参加者数、プログラム売上額 旅行商品の予約・販売数、売上金額 コンテンツ・旅行商品の予約・販売数、売上金額 改善による販売額の増加 商談による旅行商品販売数、来訪者連絡先等獲得件数等 WEBアクセス数、旅行商品予約数、販売件数 記事リーチ数、旅行商品の予約・販売件数

<p>中間報告 NEW</p>	<p><u>令和6年10月11日（金）まで</u>に「事業遂行状況（中間）報告書」（第4号、4-1号様式）を提出しなければならない。</p>
<p>事業実施期間</p>	<p><u>負担金支給予定額決定の日から令和7年2月28日（金）まで</u></p> <p>（注1）ただし、機構への<u>精算書等の提出期限は令和7年3月5日（水）厳守</u>となります。 必ず余裕を持って事業を実施し、提出期限に間に合うよう前もって精算ができるよう留意すること。</p> <p>（注2）精算が間に合わない場合は、負担金の支給を取り消す可能性もあることをご留意願います。</p>
<p>事業内容の変更または中止</p>	<p>採択後に、事業内容の変更や中止が生じた場合、観光機構に対し速やかに報告するとともに「<u>内容変更申請書</u>」（第10号、10-2号、10-3号様式）を提出しなければならない。</p>

- ・まずは担当者に報告・相談してください。
- ・「内容変更申請書」を提出いただき、**観光機構の承認が必要**となります。
- ・変更内容について、承認が得られれば代替え案で実施可能です。
- ・中止の場合、それまでにかかった費用は経費として計上できます。

提出書類	提出書類	提出様式	提出物 1	提出物 2
	①要望書	第1号様式	エクセル データ	PDF データ ※①～④の様式一式を 一つのPDFにしたもの
	②応募用紙(企画提案書)	第2号様式		
	③予算書	第3号様式		
	④事業概要書	第2号様式のポンチ絵	—	
	※構成員名簿・規約	協議会等の任意団体の場合	様式任意	—

提出先	<p>【観光機構窓口】 ※各エリア担当窓口 2名にメールでご提出ください。</p>	
	<p>道央エリア (石狩・空知・後志・胆振・日高) 道南エリア (渡島・檜山)</p>	<p>担当 澤山 e_sawayama@visithkd.or.jp 中田 s_nakata@visithkd.or.jp</p>
	<p>道北エリア (上川・留萌・宗谷) 道東エリア (十勝・オホーツク・釧路・根室)</p>	<p>担当 伊原 n_ihara@visithkd.or.jp 高橋 m_takahashi@visithkd.or.jp</p>
	<p>※必ず、提案者の事務局が所在する北海道（総合）振興局観光担当にもあわせてメールで提出（PDFデータのみ）して下さい。</p>	

提出期限	<p>令和6年5月9日（木） 16：00必着</p>
------	----------------------------

●PDFデータでの提出方法

第1号様式
企画提案書

第1号様式
地域の魅力を活かした観光地づくり推進事業

公益社団法人 北海道観光振興機構
会長 小磯 修二 様

件 名
題 名
代表者名

事業名

上記の事業に關し、企画提案を本行へ事業の実施を要請致しますので、関係書類を添付し提出致します。

記

1. 事業の着手及び完了の予定日
着手(予定) 完了(予定)
※着手日が過ぎます!! (注)→発行令和5年2月28日迄)

2. 負担金支給要領 金 円 ←最低50万円以上です

第2号様式
応募用紙

令和4年度地域の魅力を活かした観光地づくり推進事業 応募用紙

法人種別	法人名	代表者名	〒
法人番号	住所	電話番号	0900/0000
法人代表者	代表者名	代表者職名	
法人代表者	代表者名	代表者職名	
法人代表者	代表者名	代表者職名	

事業年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	計(令和4年度からの3年間)
事業費(総額)				
うち、負担金				
うち、補助金				
うち、自己資金				

事業概要
1. 事業の目的
2. 事業の概要
3. 事業の進捗状況
4. 事業の成果
5. 事業の持続可能性

申請書類の添付
1. 企画提案書(第1号様式)
2. 申請書(第2号様式)
3. 申請書(第3号様式)
4. 申請書(第4号様式)
5. 申請書(第5号様式)

※申請書類の添付は、必ずPDFデータで提出してください。

第3号様式
企画提案書(収支計画)

第3号様式
地域の魅力を活かした観光地づくり推進事業

事業名

収入の総(預金)

種 目	金額(円)	備 考
職員員料金	0	
地元員料金		
計	0	

支出の総(預金)

種 目	金額(円)	備 考
消耗品費		
計	0	

収支の差

科 目	金額(円)	内 容
計	0	

※請求書の発行、事業収入と支出の帳簿の作成、税務申告(法人税)等、別途準備が必要となります。特に申請書の添付は必ずPDFデータで提出してください。また、請求書の発行は必ず必要となります。

事業概要書
第2号様式の事業概要のポンチ絵

事業概要書

事業名: _____

事業種別: _____

● 目的(何故、この事業を行うのか?)

● 実施概要
(1) 誰が行うのか?
(2) 誰に対して行うのか?(ターゲット)
(3) 何を行うのか?
(4) どこで行うのか?

● スケジュール
(1) いつ、どのような手段で行うのか?
(2) その手段により実施する目的は何か?

月	手段	目的

● 数値(定量)目標と検証方法
(1) 年度内にどのような数値結果を目指すのか?(アウト・イン)
【アウトカム】
(2) 本事業により期待される地域経済への寄与・将来的ビジョンについて

● 経費概要

うち、負担金	万円
うち、員料金	万円
うち、地元員料金(現金)	万円
うち、現物員料金	万円

この順番で一つのPDFにして、エクセルデータと一緒にご提出ください。

ご応募お待ちしております！

HTO HOKKAIDO
TOURISM
ORGANIZATION